

# TDKグループのCSR

社会から信頼され続ける企業を目指し、従業員一人ひとりが日常の業務を通じて、社是の実践と企業倫理を追求していきます。

## 経営理念

社是	創造によって文化、産業に貢献する
社訓	<p><b>夢 勇気 信頼</b></p> <p><b>夢</b> 常に夢をもって前進しよう。 夢のないところに、創造と建設は生まれない。</p> <p><b>勇気</b> 常に勇気をもって実行しよう。 実行力は矛盾と対決し、それを克服するところから生まれる。</p> <p><b>信頼</b> 常に信頼を得よう心掛けよう。 信頼は誠実と奉仕の精神から生まれる。</p>

## 創業の精神を引き継ぐ経営理念

世界初の磁性材料「フェライト」は、東京工業大学の加藤与五郎博士と武井武博士によって1930年に発明されました。「日本人による独創性のある工業こそが真の工業だ」という加藤博士の言葉に強い印象を受けた齋藤憲三は、日本のオリジナル素材である「フェライト」を事業化するため、1935年、TDK（当時は東京電気化学工業株式会社）を設立しました。

当時は「フェライト」の応用は未知数で、創業は「夢」を追った「勇気」ある出発でした。しかし、東京工業大学と

TDKが研究開発を進めた結果、「フェライトコア」という部品として製品化され、1937年に世界に先駆けて日本の無線通信機やラジオなどに応用されました。そして、終戦までにのべ500万個が出荷される「信頼」を獲得したのです。

「世の中にまだ存在しない価値を素材のレベルから創り上げる」という創業時からの独創の精神は、TDKのDNAとして受け継がれ、1967年6月に制定された社是「創造によって文化、産業に貢献する」にも反映されています。



(左から)加藤与五郎博士と武井武博士



初代社長 齋藤憲三



世界初のフェライトコア



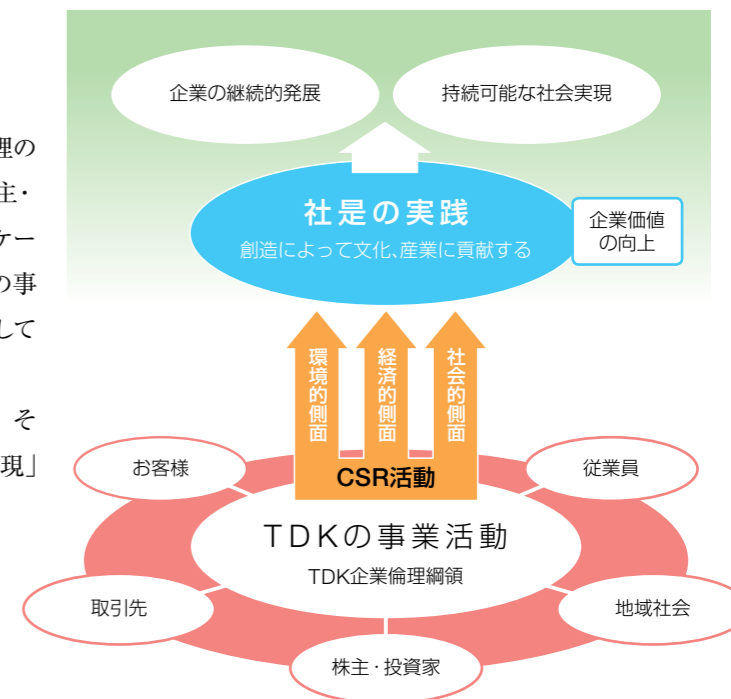
TDKの最初の工場である東京・蒲田工場

## TDKグループのCSRと理念体系との関係

TDKグループのCSRとは、「社是の実践と企業倫理の追求」です。これは、お客様、取引先、従業員、株主・投資家、地域社会などのステークホルダーとコミュニケーションをとりながら、企業倫理綱領<sup>※</sup>を基盤に、TDKの事業活動を通じてCSR活動を推進していくことを意味しています。

社是の実践を遂行することで企業価値を向上させ、その結果、「企業の継続的発展」と「持続可能な社会実現」に貢献していきます。

※企業倫理綱領の全文はWEBをご覧ください。  
<http://www.tdk.co.jp/tjaaa01/aaa07000.htm>



## CSR観点での重要な活動項目

TDKグループは、社会および自社への影響度、重要度を考慮し、右記の4点を重要な活動項目として取り組んでいます。

1. 社会課題の解決に貢献する技術イノベーションと感動品質の製品づくり
2. 1.を実践できる人材の育成
3. CSR観点でのサプライチェーン・マネジメント
4. 地球環境との共生

## CSR推進体制

TDKグループは、企業倫理・CSR委員会、およびその下部組織であるCSR推進部会を中心にCSRを推進しています。

### 企業倫理・CSR委員会

企業倫理・CSR委員会は、アドミニストレーショングループゼネラルマネージャーと経営監査部、経理部、人事教育部、総務部、法務部、広報部、経営企画部、CSR推進室の各機能長およびTDK-EPC株式会社のチーフ・コンプライアンス・オフィサー（CCO）をメンバーとした、取締役会直轄の組織です。全世界のTDKグループ企業の構成員に対するTDK企業倫理綱領の教育、浸透に努めるほか、同綱領に関連する問題を解決することを使命としています。

### CSR推進部会

企業倫理・CSR委員会の下部組織として、設置されているのがCSR推進部会です。CSR活動で取り組むべきテーマごとに11の機能から構成されています。企業倫理・CSR委員会より諮問された事項や事業におけるCSR上の課題を検証することにより、幅広いCSRテーマの実践を目指しています。

#### CSR推進体制図

